証券コード 4283

パナソニック電エインフォメーションシステムズ株式会社

2010年3月期

第3四半期決算説明会

代表取締役社長河村雄良

2010年1月28日

Panasonic-denkois.co.jp

会社概要

会社名

パナソニック電エインフォメーションシステムズ株式会社

(略称) パナソニック電工IS

2008年10月1日 松下電エインフォメーションシステムズ株式会社より社名変更

会社設立

1999年2月22日

代 表 者

代表取締役社長 河村 雄良

事業内容

- ①情報システムに係わるインテグレーション業務全般
- ②コンピュータシステムの管理・運営
- ③コンピュータソフトウェアの設計・開発・販売・リース・賃貸
- ④情報ネットワークサービス及び情報通信機器関連の販売

資 本 金

10. 4億円 (2009年12月末現在)

従業員数

616人 (2009年12月末現在 連結)

ビジネスモデル

ソリューションを軸にした事業展開 1. サービスソリューション事業 システムサービス システム運用 1. ASP/SaaSサービス 2. ネットワークサービス 3. アウトソーシングサービス システムソリューション システム提案 ソリューション販売 1. ソリューション提案 2. コンサルティング ソリューション提案 3. パッケージソフトの開発・販売 2. システム機器・通信機器関連事業 1. パソコン、サーバー 機器販売・工事 通信機器類の販売 2. ネットワークエ事、設備工事

2010年3月期第3四半期 〈トピックス〉

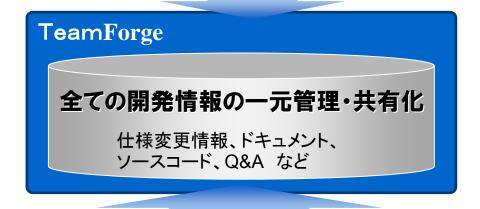
トピックス

新商材 ソフトウェア開発支援プラットフォーム「CollabNet TeamForge」

オフショア開発や協力会社との分散開発環境をSaaS型で提供



2008年より当社で活用(インド・中国) その経験・ノウハウでお客様を支援



効率的ソフト開発を実現

- ・開発工程の見える化
- ・情報伝達/コミュニケーションの効率化
- ・開発情報の一元管理・共有化
- •内部統制の強化
- ・開発コストの削減



※CollabNet TeamForgeは、CollabNet, Inc. の登録商標です。

トピックス

新商材

Data Domain デデュープ・ストレージ ※

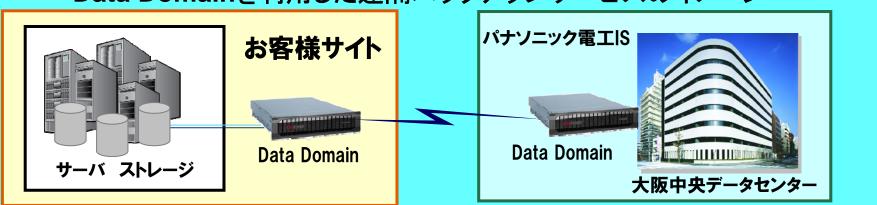
サーバ・ストレージの仮想化に対応するバックアップの 最新技術を<u>経験とノウハウ</u>をもとに提案

当社にて2002年よりストレージ統合、サーバー統合を実施



データ1TBあたり30%のバックアップコスト削減 テープのバックアップに比べ10%の時間短縮

Data Domainを利用した遠隔バックアップサービスのイメージ



※デデュープ技術(容量最適化技術)を使い、高圧縮でストレージ容量の大幅削減、 大容量のデータ転送を可能とし、大容量バックアップや遠隔地バックアップに最適。

data Domainは、米国Data Domain Inc. の商標または登録商標です。

今後の取り組み

顧客別の重点施策

一般顧客

現場力を生かしたビジネス展開

合理化提案の徹底

- ▶ ITコストの(直接的な)合理化 運用コストの合理化 ITコストの変動費化
- ▶ IT投資による(業務の)合理化

訴求点

- ・ノウハウ
- ·現場力
- •技術

パナソニック電工

- •ユーザー課題の掘起し ECMの展開 など
- ・IT使いこなし支援



次のビジネス獲得とCS向上へ

パナソニック電エグループ

- •合理化提案
- ・ガバナンス強化提案



アウトソーシングビジネス獲得

経営資源の 最適化

現場力を活かしたビジネス展開

ユーザー起点のソリューション・サービス提供

顧客密着で【深掘り】と【幅】を広げる

当社の強み

ユーザー出身企業の現場力を活かし

ユーザーの共感を得る活動

3つの『実』

- ▶実例紹介
- ▶実績提示
- >実物確認

お客様に 信頼と安心を

合理化提案の徹底

重点施策

1 ICT構造改革支援

大企業のシステム運用の合理化・コスト削減

サーバー統合・仮想化、インフラ改革【ベンダーロックの解除】

2 業務連携支援

新規投資の抑制、徹底したシステムの使いこなし(延命)

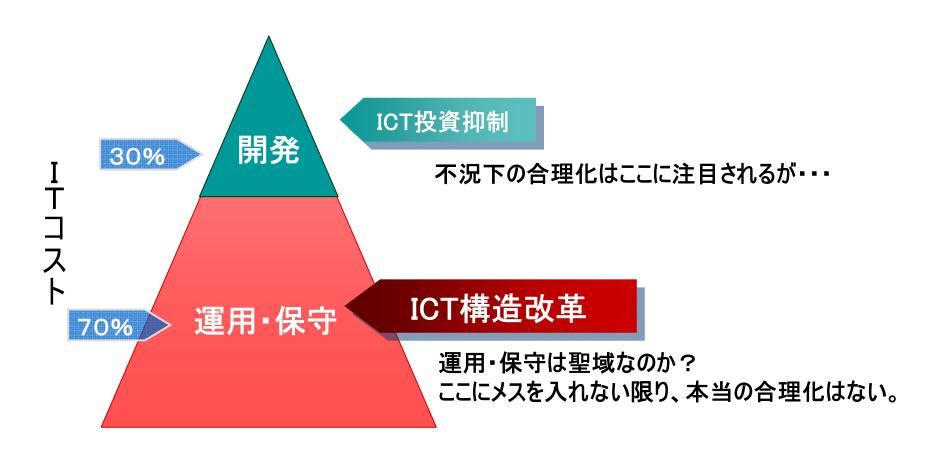
既存システムをそのまま活用、データの徹底活用、手軽にSaaS連携

3 アウトソーシング受託

パッケージベンダーのSaaS化支援

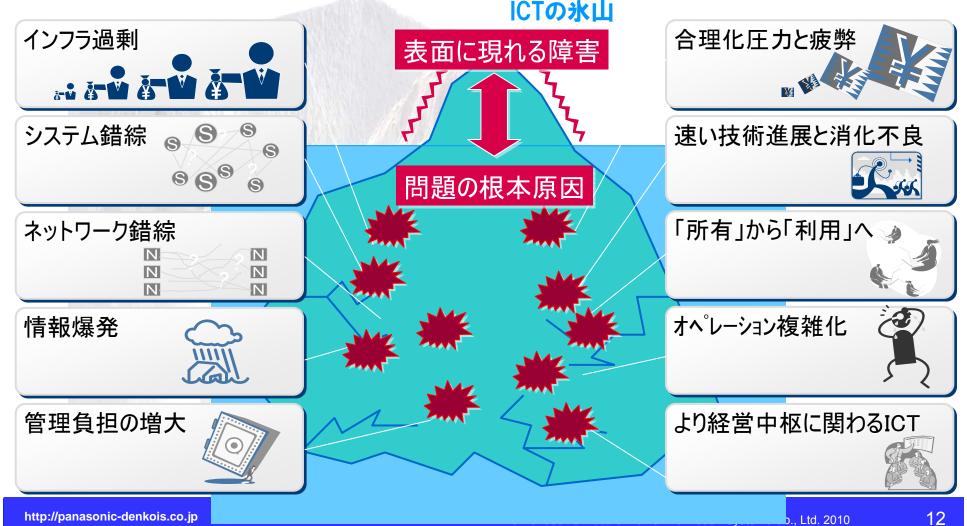
SaaSプラットフォームの提供

ICT構造改革の必要性

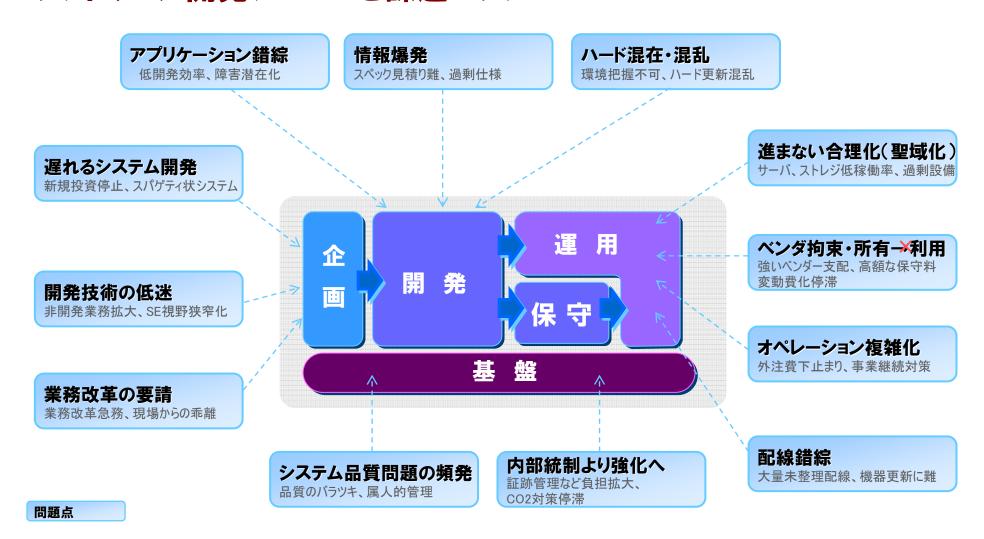


軋む情報システム 氷山の下で始まっている崩壊

こうした軋み(きしみ)は、ICT氷山の水面下で次第に広がり、 慢性的なコスト削減阻害要因になっている。



ソフトウェア開発プロセスと課題マップ



ものづくりの知恵を活かす

『5S』 整理、整頓、清掃、清潔、しつけ

『3ム』 ムリ、ムダ、ムラ

『3準』 標準化、平準化、基準化

ぜい肉を落としてICTの筋肉化

経営体質強化につながる

証券コード 4283

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。